

一般社団法人 日本劇場技術者連盟

令和元年第一回臨時理事会

1、開催日時 令和元年8月7日(水曜日) 18:30~22:00

2、開催場所 株式会社シアターワークショップ会議室
(渋谷区神宮前6-23-3 第9SYビル4階)

3、出席理事 理事総数 14名(定足数 8名)

(出席理事 10名: 齋藤讓一、安藤裕之、伊東正示、高橋三十四、市ヶ谷昌典、
西山英樹、畑野一恵、杉本伸、石山富士夫、五十嵐裕)

(出席監事 2名: 黒田英己、小川順一郎)、(事務局 5名)

議事録署名人は、五十嵐 裕 理事及び黒田 英己 監事

4、審議事項

第1号議案 特別協賛会員について

連盟の活動に賛同し、業界活動の支援を目的とする一定額の協賛金があり、議決権を有しない会員昨年11月に提案(400,000円)

・一口あたりの金額 400,000円を提案し、6月の総会で会員より承認された旨報告があり、それに伴う規約への追加記載が承認された。

【その他確認事項、理事からのご意見】

- ・正会員ではなく、協賛会員(寄付会員)という認識
- ・法人からの協賛を得るために制度を設ける。
- ・定款を見直し、来年度総会に向け整備をする
- ・特別協賛会員に金額に値するメリットが必要
例) ライブ&シアターEXP02018 セミナー講師の誘致を非課税や
連盟誌やサイトでの広告掲載など
- ・現在数社より、特別協賛会員への賛同あり、または検討中の声がある
- ・会費の何パーセントを活動に使うのか、明確にする
- ・ソーシャルパブリックテストへの申請を検討すればどうか

- (承認されれば寄付金の還元や、非課税扱いなど)
- ・ 宣伝費の枠と寄付金（非課税）の紐づけ、両方の受け皿を整えるべき
 - ・ サイトの規約を更新し、後々詳細の制度を決めていく
 - ・ 特別協賛会員は法人会員、個人会員双方で対応

●特別協賛会員を集めるために、連盟の事業の充実、定款などを整備する
特別協賛会員としてのステータスを作ることを当面の課題とする

第二号議案 組織基盤整備委員会の設置

組織基盤整備委員会の設置が提案され、委員長を西山英樹理事とし、それを承認した。以下の通り、委員の提案があり、今後本人の確認後、理事長、委員長の承認を経て委員会を構成する。

組織基盤整備委員会

委員長：西山 英樹 理事

委員：糸日谷 智孝 理事、安藤 裕之 理事、斎藤 讓一 理事長

【組織基盤整備委員会の主な取り組み案】

- ・ 定款の一部改正、規約、細則の整備
(認定制度規約、特別協賛会員規約)
 - ・ 改定箇所他、改定箇所について準備し今後の理事会での提案準備する
- ① 総会及び理事会における議事録署名人員数の明文化する件
 - ② 監事の任期を延長する件
 - ③ 理事会の議長について などその他必要事項を委員会で検討する。
 - ・ 総会の運営規定について定める。
 - ・ 次回の総会へ向けて、定款などを整備する。

第三号議案 各事業案について

- ① 地方活性事業【静岡認定講座事業】技術者認定講座（静岡県）

上記事業計画提案があり、開催について決定された。

【実行委員会より提議された課題】

- ・ 現在、収支の懸念事項がある。
- ・ 受講費をいくらにするかを検討（現在 3,000～2,000 円で検討中）
- ・ 3,000 円で収支がとれるのか？ これまでは 9,000～10,000 円
→ 静岡からは 9,000 円での検討要請あり

- ・受講金額の統一が必要
- ・地方活性事業委員会を作りたい（今田氏からの提案）

委員会候補者

出井稔師第2事業群副理事長、高橋 三十四副理事長、今田晴義理事、
伊東正示副理事長、及び秋田県の羽根川 和雄、千田 敬
（次回委員会に向けてメンバーを整え、提案していく）

② 国際事業年度内計画の提案（畑野理事）

国際事業委員会の設置と本年度の事業案について承認可決された。

- ・在外研修制度への会員推薦への取組
- ・OISTATの会員 アソシエイトメンバーとしての加入することで海外での劇場
関連情報の入手に注力する。

国際事業委員会

委員長：畑野 一恵 理事

副委員長：杉本 伸 理事

委員：杉山 至（正会員）、竹中 絵美（会員申込準備中）、山梨 榮利子（正会員）

【国際事業について、その他課題と意見】

- ・ほかの理事メンバーの加入、事務局、一般会員の加入も必要ではないのか
- ・連盟会員限定にする
- ・委員会メンバーからの意見を吸い上げ、方向性をまとめていくのは委員会
- ・事務局がまとめる

運営予算の確保

事業提案書のフォーマットに記入し、事業提案（プロセス、ゴール、予算出し、
資金運営など）

③ 福利厚生事業の計画の提案（太田事務局参与）

- ・会員が連盟への魅力を感じるための福利厚生事業
- ・技術者の心のケア…離職の抑止にもつなげ、技術の継承にもつなげていく
- ・連盟会員家族に向けたサービスや連盟会員向けのサービスなど（劇場割り引き
サービスなど）
- ・一般人向けの会員の増加も図る
- ・アソシエーションとしての福利事業

- ・ 連盟誌のチケットプレゼントの掲載など、連盟誌やサイトの連動を検討
- ・ 連盟誌、サイト、Facebook など各事業ページの作成が必要なのではないか（ビジョンや進捗含め）情報共有や知識を含める

- ・ 委員会の設立

太田美季事務局参与、安藤裕之専務理事、齋藤譲一理事長、担当副理事長

第四号事案 団体名の名称変更について

総会決議【1年間の協議の上、最終的に決定する。ただしUCPA（英語名は決定）】の基づき名称変更について議論された。

【確認事項及び理事からの提言事項】

- ・ 総会、理事会にてすでに提案済
- ・ 活動範囲を広げる、会員増加、会員向けのサービスを増やしていくための変更
- ・ 事務局からの名称案【劇場芸術技術連盟】
- ・ 活動範囲を問わないために、「日本」「国際」はつけない
「国際」と盛り込む事について、否定的な意見が多かった事と連盟活動に於いて国際活動の実績が不十分である点などから、国際と付く名称は除外すべき。
- ・ 芸術家への連盟賛同を図る
- ・ すべては、連盟会員の知識向上とネットワーク拡充のために考えるべきで認定制度などと連携させるべき。

など、多くの意見が出たが審議不十分なため、次回理事会に持ち越し審議となった。

当日追加議案①

ライブ&シアターEXPO 展示会事業について

例年通りの開催である旨、説明があり提出された事業計画書、予算書を承認した。昨年からの変更点は、セミナー事務局は事務局での運営を軸に計画し、外注範囲は、事務局の判断に委ねる旨確認した。

【特筆事項】

●ライブ&シアターEXPOについて（TSOより）

- ① セミナー講師の18名が必要、各90分のセミナー
4名を法人会員（出展会員企業を優先）
4名を理事、会員などから
10名を専門家など会員・非会員問わず選任する。
- ② 8月中に全18名のセミナー講師を決定する
- ③ 講師、パフォーマンスステージ出演者の誘致の協力を各位にお願いしたい
- ④ 事務局がセミナー事務局を運営する（難しいと判断した場合は外注もあり）

当日追加議案②

●事業報告書の公開範囲について

事業報告書やレポートは、ホームページや連盟機関誌に掲載する。
ただし企業秘密や個人情報に抵触する内容（予算明細や所得に関わる情報）の掲載はしない旨、理事会で確認、承認された。

事務局報告事項

- ・総会の決算報告
- ・総会議事録、理事会議事録の電子公告（掲載済み）
- ・イグスイノベーション内覧会&シンポジウムの報告
- ・事業計画書について（後日ひな形送付）
- ・納涼会について（8月7日にメールを配信済み）
（8月27日火曜日19時～22時開催、予算は会費のみで対応する）
- ・事務局担当割について報告
- ・会員及び認定証発行について
- ・連盟誌10号記念発行（11月上旬予定）について
- ・各事業などで掛かる経費について、立て替えた場合は所定の精算書記載（領収書など添付の上）事務局会計に提出する。（関係者へは後日ひな形送付）

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成して、議長及び議事録署名人は、記名、押印する。

議 長 齋藤 讓一

議事録署名人 黒田 英己

議事録署名人 五十嵐 裕